

建築研究所ニュース



令和2年7月9日

令和2年度 長期優良住宅化リフォーム推進事業 事前採択タイプ（提案型）
の評価結果を公表しました。

平成26年度より国土交通省が実施している「長期優良住宅化リフォーム推進事業 事前採択タイプ（提案型）」について、国立研究開発法人建築研究所による応募提案の評価が終了し、本年度は、長期優良住宅化リフォーム推進事業 事前採択タイプ（提案型）として適切な提案はなかったと評価いたしました。

この結果を国土交通省に報告するとともに、本研究所ホームページにおいて公表いたしましたので、お知らせします。

国立研究開発法人建築研究所 長期優良住宅化リフォーム推進事業ホームページ；

https://www.kenken.go.jp/chouki_r/index.html

1. 長期優良住宅化リフォーム推進事業 事前採択タイプ（提案型）の概要

- (1) 長期優良住宅化リフォーム推進事業は、インスペクション、性能の向上を図るリフォーム及び適切なメンテナンスによる既存住宅の長寿命化に資する優良な取組に対し、国が事業の実施に要する費用の一部について支援することにより、住宅ストックの質の向上及び流通促進に向けた市場環境の醸成、及びそれらの取組の普及を図ることを目的とした事業である。
- (2) 本年度は、過年度に引き続き、長期優良住宅化リフォーム推進事業事前採択タイプ（提案型）として、評価基準や長期優良住宅（増改築）認定基準（以下「認定基準」と言う。）では評価できない性能向上工事等で、先導性・汎用性・独自性等の高い長期優良住宅化リフォームの実現手法を募集した。なお、今年度からは評価基準または認定基準に抵触する部分があり、評価基準・認定基準に相当する性能向上リフォームの提案に限定することとした。なお、昨年度募集した「良好なマンション管理」については、今年度は募集の対象としないものとした。
- (3) 国立研究開発法人建築研究所は、学識経験者からなる評価委員会を設置し、応募提案の評価を実施した。

2. 応募状況及び審査の経緯

(1) 国土交通省において4月21日から5月29日まで募集を行い、総数2者2件の応募を得た。

・性能項目別の内訳

	劣化対策	耐震性	省エネルギー対策	計画・維持管理	総計
件数	2件	0件	0件	0件	2件

※今年度は事業者による性能項目の選択は行わず、提案内容に応じて国立研究開発法人建築研究所において審査を行う性能項目を決定した。提案については主に上記に示す性能項目の専門委員会において審査を実施したが、上記以外の専門委員会においても提案内容の確認を行った。

・工事対象別の内訳

	戸建住宅	共同住宅等 専用部分	共同住宅等 共用部分	総計
件数	1件	0件	1件	1件
戸数	40戸	0戸	78戸	118戸

(2) 本研究所において、専門的な審査を行うため、評価委員会のもとに「劣化対策」、「耐震性」、「省エネルギー対策」、「計画・維持管理」の4つの専門委員会【別紙1】を設置し、応募提案の審査を行った。専門委員会の審査結果を受けて、評価委員会において最終的な評価を行った。なお、提案対象を評価基準等に相当するものに限定したことから、過年度まで設置していた「生産・流通体制」専門委員会は設置しなかった。

3. 評価の総評

(1) 本年度の応募は少なく、また提案内容に「長期優良住宅リフォーム推進事業【提案型】」として評価すべきものが見られなかった。

(2) 提案のあった2件については、全て提案型として適切ではないと評価した。主な理由は以下の通りである。

- ・主たる提案内容とされた測定手法（サーモカメラ）にエビデンス（科学的な根拠）が示されていないため、評価基準を満たしているとは判断できず、審査の対象にならない。
- ・コンクリート躯体の劣化対策について具体的な性能向上の提案がなされておらず、その有効性が評価できない。

4. その他

今回の応募状況及び提案内容を踏まえ、審査及びそのとりまとめ過程において、今後期待される提案、提案にあたっての留意事項として、【別紙2】に示す事項が示されている。今後の申請等に際して参考としていただきたい。

以上

令和2年度長期優良住宅化リフォーム推進事業評価委員会・専門委員会

評価委員

委員長	松村 秀一	東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻 特任教授
委員	秋元 孝之	芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授
	五十田 博	京都大学 生存圏研究所 生活圏構造機能分野 教授
	楠 浩一	東京大学 地震研究所 災害科学系研究部門 教授
	高橋 暁	建築研究所 建築生産研究グループ グループ長
	中川 雅之	日本大学 経済学部 教授
	濱崎 仁	芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授
	藤本 秀一	国土技術政策総合研究所 住宅研究部 住宅計画研究室 室長

(敬称略)

専門委員(○：専門委員会主査)

専門委員会	氏名	所属
劣化対策	○濱崎 仁	芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授
	近藤 照夫	ものづくり大学 名誉教授
	高橋 暁	建築研究所 建築生産研究グループ グループ長
	中川 貴文	京都大学 生存圏研究所 生活圏構造機能分野 准教授
構造	○五十田 博	京都大学 生存圏研究所 生活圏構造機能分野 教授
	楠 浩一	東京大学 地震研究所 災害科学系研究部門 教授
	長谷川 隆	建築研究所 構造研究グループ 上席研究員
	藤田 香織	東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻 教授
省エネルギー対策	○秋元 孝之	芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授
	鈴木 大隆	(地独)北海道立総合研究機構 理事
	三浦 尚志	建築研究所 環境研究グループ 主任研究員
	西澤 繁毅	建築研究所 環境研究グループ 主任研究員
計画・維持管理	○藤本 秀一	国土技術政策総合研究所 住宅研究部 住宅計画研究室 室長
	大塚 雅之	関東学院大学 建築・環境学部 建築・環境学科 教授
	佐藤 克志	日本女子大学 家政学部住居学科 教授
	角倉 英明	広島大学大学院 工学研究科 建築学専攻 准教授

(敬称略)

今後期待される提案、提案に当たっての留意事項

今後一層重要性を増す住宅のリフォーム市場にあって、より多くの先端的な取り組みがその活性化に寄与するものと考えられる。そうした意味からも、過去の採択例の内容や評価委員会によるコメント等を参考にしながら、それぞれの性能の向上方法等に関して、更に多くの事業者が新たな提案に取り組むことを大いに期待したい。